

大事業	35	防災・防犯	担当部署	消防総務課	
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	20	常備消防費		款	09 消防費
事業開始年度		平成29年度		項	01 消防費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 常備消防費
当初予算額 A		72,794,000 円	目的	常備消防として各種災害に対応するため、職員の資質向上と消防資機材の維持管理を図ることにより、迅速な消防防災活動を行い、災害の予防及び被害の軽減を図るもの。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	2,403,000 円		使用料外	
	一般財源	70,391,000 円			
人件費コスト B		75.0人役	580,425,000 円	総事業費 A+B	653,219,000 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【防災体制の構築事業】	68,264,000円	0円	0円	2,403,000円	65,861,000円
・多種多様化する災害に迅速に対応できる高度な能力を持つ消防職員を育成するため、県消防学校及び消防大学校並びに各種研修機関等へ派遣し、職員の更なる資質向上を図り、もって消防体制の充実を図るものである。また、多種多様化する災害や地震災害等の大規模な広域災害に対応するために消防車両の整備並びに消防資機材・設備等の充実を図り、災害時の対応を適切且つ迅速に行うとともに、災害の防除及び災害による被害を軽減し、安全で住みよい暮らしの提供を目指すもの。					
【消防車両維持管理事業】	4,530,000円	0円	0円	0円	4,530,000円
・消防車両の整備維持管理は、災害時の適切かつ迅速な対応を可能にするために必要不可欠で、市民の安全を確保するための基本となるもの。					

成果指標	目標値
応急手当の実施率	50%



土砂災害合同訓練 (安来警察、建設業協会)



被災地救援物資搬送出发式 (熊本市)



重症傷病者をドクターカー医師に引継ぎ



緊急消防援助隊合同訓練(中国・四国ブロック)
訓練会場: 中海ふれあい公園(仮称) ほか

大事業	35	防災・防犯	担当部署	消防総務課	
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	非常備消防費		款	09 消防費
事業開始年度		平成29年度		項	01 消防費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 非常備消防費
当初予算額 A		81,058,000 円	目的	消防団員の資質向上と消防資機材の維持管理等を行い、火災を予防し水害や地震等から被害の軽減を図るもの。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入 14,562,000 円			
	一般財源	66,496,000 円			
人件費コスト B	5.0人役	38,695,000 円	総事業費 A+B	119,753,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【消防団体制の構築事業】	75,759,000円	0円	0円	14,562,000円	61,197,000円
・消防団は、災害現場での活動や日頃の地域住民への防災指導など地域防災力の中枢をなす組織である。東日本大震災の発生以来、地域住民の消防団への期待は益々高まっており、その災害対応能力を更に向上させるための教育訓練及び研修派遣を充実させ、市民の負託に応えるもの。					
【消防団車両維持管理事業】	5,299,000円	0円	0円	0円	5,299,000円
・消防車両の整備維持管理は、災害時の適切かつ迅速な対応を可能にするために必要不可欠で、市民の安全を確保するための基本となるもの。					

成果指標	目標値
消防団員数	720人



島根県消防操法大会（出雲市）



応急手当普及活動（女性隊）



安来市消防出初式 通常点検



安来市消防出初式 一斉放水（女性隊参加）

大事業	35	防災・防犯	担当部署	消防総務課		
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	30	常備消防施設費		款	09 消防費	
事業開始年度		平成29年度		項	01 消防費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 消防施設費	
当初予算額 A		34,400,000 円		目的	消防施設及び設備の整備拡充を行うことにより、各種の災害に初動から迅速かつ効果的に対応し、被害の軽減を図るもの。	
財源内訳	国・県支出金	国1/2	14,338,000 円			
	地方債	過疎	18,600,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		1,462,000 円			
人件費コスト B		5.0人役	38,695,000 円	総事業費 A+B	73,095,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【消防庁舎維持管理事業】	1,400,000円	0円	0円	0円	1,400,000円
・24時間常時出動態勢を確保し、消防業務を円滑に遂行するため消防施設を適正に維持・管理するものであり、災害時の適切かつ迅速な対応を可能にするためには、消防施設の充実を図ることが重要である。施設の不備を未然に防ぎ、適正な予算で円滑な維持管理に努め、業務効率を高める職場環境の改善を図るもの。					
【機械器具等整備事業】	33,000,000円	14,338,000円	18,600,000円	0円	62,000円
・平成16年に運用開始した広瀬分署の高規格救急自動車が老朽化し、救急活動に支障をきたすおそれがあるため更新するもの。					



高規格救急自動車 1 台購入



救急車内部

大事業	35	防災・防犯	担当部署	消防総務課	
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	非常備消防施設費		款	09 消防費
事業開始年度		平成29年度		項	01 消防費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 消防施設費
当初予算額 A		72,744,000 円	目的	消防団施設及び設備の整備拡充を図り、安全で安心な住みよい地域づくりを目指すもの。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	緊防 65,500,000 円			
	その他	0 円			
	一般財源	7,244,000 円			
人件費コスト B	3.0人役	23,217,000 円	総事業費 A+B	95,961,000 円	

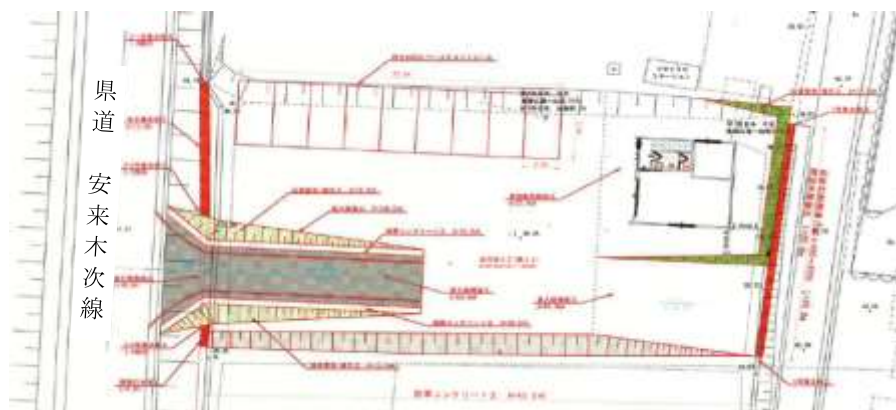
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【非常備消防体制の構築事業】	72,744,000円	0円	65,500,000円	0円	7,244,000円
----------------	-------------	----	-------------	----	------------

・班統合により消防団拠点施設を建設し、災害時の待機場所を含む消防車庫として山間地の地域防災力向上を目指すもの。また、更新計画に基づき老朽化した車両、資機材を整備し、消防力の充実強化を行い、各種災害への対応を図るもの。

・安来地区内の消防車庫に計画的に給水引込工事を行う。また、水利が少ない地域には計画的に消防水利を整備し、消火体制の充実を図ると共に火災による被害を軽減し、市民に安全と安心を提供することを目指すもの。

- 消防団拠点施設建設（山佐分団） 造成・建築工事
- 小型動力ポンプ付積載車2台導入（布部分団4班、井尻分団2班）
- 消防車庫給水引込工事（4箇所）
- 消火栓新設負担金
- 防火水槽改修工事（伯太町上小竹 久根地区）



消防団拠点施設配置案（山佐分団）
敷地面積 737.35㎡



小型動力ポンプ付積載車



防火水槽改修工事（久根地区浄水場）

大事業	35	防災・防犯	担当部署	消防総務課	
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	40	水防費		款	09 消防費
事業開始年度		平成29年度		項	01 消防費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 水防費
当初予算額 A		670,000 円	目的	災害(洪水・高潮等)による被害を未然に防止し、市民の生命・財産を守り、安全で安心な地域づくりを目指すもの。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	670,000 円			
人件費コスト B	3.0人役	23,217,000 円	総事業費 A+B	23,887,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【水防活動事業】	670,000円	0円	0円	0円	670,000円

・災害の規模、状況等に応じて消防職・団員を招集し、警戒パトロール、広報活動、情報収集を行い、必要に応じて水防工法を実施するもの。また、災害が発生した場合は、市内7箇所を設置された水防倉庫から資機材を搬出し対応するもので、災害に備えて倉庫の維持管理、資機材の整備を行うもの。



水防訓練 (水防工法)